

近世民家の座敷における長押成について
近世民家における寸法研究 その3

正会員 ○坂井 禎介*

民家 座敷 木割
柱 長押 寸法

1. 研究の方法と目的

以前の拙稿^{註1}では、座敷の柱幅を分析したが、本稿では、近世民家における各民家の主たる座敷の長押の成を分析し柱幅との比を検討する。計測を行ったのは修理工事報告書が発刊された重要文化財民家236棟の内、長押成が判明した98棟である(一覧は表2)。長押の成の数値は、

A 筆者が実測したもの

B 修理工事報告書で長押成の記載があるものをデータとして用いた。ただし、江戸前期と明治期は3棟以下しかないなど、データ数の制約による誤差が大きいだろう時代や地域もある。

2. 既往研究

長押の研究は、特定地域の民家の内法長押の納め方の研究^{註2}や、長押寸法の研究としては木割書に記述された長押の成と幅の比例関係の時代的変遷に関する研究^{註3}がある。しかし、本論文のような民家の長押成の全国的な研究は管見の限り見当たらない。

3. 座敷の長押成の時代的地域的傾向

○長押成

長押成は各民家の主たる座敷における長押の成をデータとした。表1のように、全国平均は.39尺で、最大は.68尺(山本家(茨城, 江戸中期))で柱より長押が太く、最小は.25尺(熊谷家(山口, 明和5=1768))で丸太形状で数寄屋風の長押であった。時代ごとには、あまり変化がない。地域ごとに見ると、東北(0.43)と関東(0.43)と四国(0.42)で若干太い傾向があり、近畿(0.36)と中国(0.34)で若干細い傾向がある。ただし、図1の散布図のように、長押の成は、0.3~0.5尺の間に大方分布していて、ばらつきがみられることに注意されたい。

○長押成と柱幅の比

長押成と柱幅の比(長押成÷柱幅)を分析する。座敷の柱幅は以前の拙稿^{註1}と同様に、主たる座敷における柱幅の最大値と最小値の中間の値^{註4}を用いる。長押成と柱幅の比は全国平均が0.88で約

9割である。匠明の殿屋集では8割(柱の面うち)であることが記載されている。それと比べれば近世民家の長押は太めである。表1のように、長押成と柱幅の比の平均値は、時代ごとにはあまり変化がない。

地域ごとには、四国(1.02)と甲信(0.96)で大きく、北陸(0.81)と中国(0.81)で小さい。

4. 結論

近世民家における座敷の長押成は平均して0.39尺であり、大方0.3~0.5尺の間の数値をとる。長押成と柱幅の比は約9割である。近世を通じて時代ごとにはあまり変化はないが、地域ごとには、東北や関東や四国の長押成が大きく、近畿や中国地方で細いことがわかる。例外はあるものの、近畿周辺で長押を若干細く、近畿から遠い地域で若干太くする傾向(九州以外)が大方読み取れる。しかし、調査対象数が十分でなく誤差があるため注意されたい。

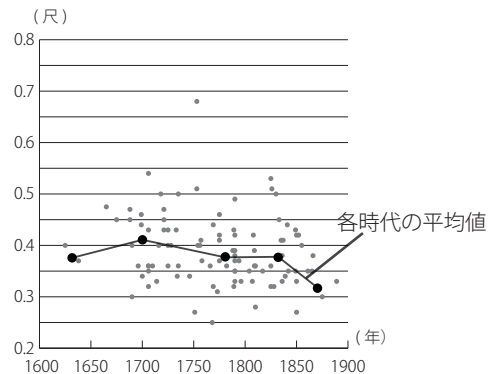


図1 座敷の長押成の散布図

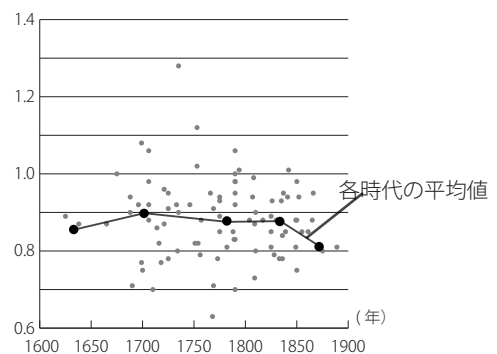


図2 座敷における長押成と柱幅の比の散布図

表1 長押成の時代的傾向

(単位尺。全国平均×1.05以上→太字、全国平均×0.95以下→灰色塗)

	全国平均	最大 最小		時代ごと ^{註5} の平均					地域ごと ^{註6} の平均								
		江戸前	江戸中	江戸後	江戸末	明治	東北	甲信	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州		
母数(棟)	98			3	32	42	19	2	14	14	13	6	7	16	14	6	8
長押成	0.39	0.54	0.25	0.38	0.41	0.38	0.38	0.32	0.43	0.41	0.37	0.43	0.39	0.36	0.34	0.42	0.38
座敷柱幅	0.46	0.73	0.33	0.47	0.47	0.45	0.44	0.43	0.52	0.44	0.50	0.46	0.48	0.43	0.43	0.41	0.45
長押÷柱幅	0.88	1.28	0.63	0.83	0.90	0.87	0.88	0.81	0.88	0.96	0.81	0.90	0.84	0.88	0.81	1.02	0.90

註

注1 坂井禎介「近世民家の座敷における柱幅について 近世民家における寸法研究 その1」『日本建築学会大会学術講演梗概集』（日本建築学会, 2018. 9, pp. 561-562）で近世民家における柱幅を分析した。他の寸法研究は下記2稿がある。

坂井禎介「重要文化財民家における最大柱幅について」『日本建築学会大会学術講演梗概集』（日本建築学会, 2017. 7, pp. 79-80）

注2 松岡高弘・百田直美「柳川の住宅における内法長押と鴨居の納め方について—柳川の近代の住宅に関する研究 その7—」『日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿）』（日本建築学会, 2014. 9, pp. 71-72）

注3 河津 優司「住宅木割書の研究：その6 内法長押について」『日本建築学会大会学術講演梗概集（東海）』（日本建築学会, pp. 623-624, 1985. 9）

注4 最大と最小の中間の値（拙稿で中間値と呼んだ）は、柱幅が太いものから細いものまで均一に分布している場合は平均値と近い値が導き出せる。例えば、3本が.60尺で3本が.40尺ならば、平均値も中間値も.50尺である。しかし、1本だけ1.00尺幅で、他の6本は.40尺の場合、平均値は.425尺だが、中間値は.70尺と大きく異なってしまう。このような誤差があるということをおぼろげに断っておきたい。

注5 各民家の時代と時代区分は文化庁『国宝・重要文化財建造物目録』（文化庁, 2009年3月）を参照した

注6 地域区分は、総務省統計局の地域区分を参照しながら地域ごとの母数が10棟以上となるように本論文で独自に定めた。総務省の区分と違う点は、棟数の少ない北海道を東北地域に含めたこと、棟数の少ない東海地域を南関東地域に含めたことである。北関東・甲信は総務省区分でも一体としていた。東海地域の大半が東海道の筋の県であり、甲信地域の大半が中山道筋の県である。

東北 (= 北海道・東北)	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
甲信 (= 北関東・甲信)	茨城、栃木、群馬、山梨、長野
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
東海 (= 東海・南関東)	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

表2 数値一覧 (単位尺。長押成順。各民家の建造年は「座敷柱幅」は座敷柱幅の最大値と最小値の和の半分。「長押÷柱幅」は長押成÷座敷柱幅のこと。)

県名	名称	時代 ^{注5}	時代区 分	長押 成	座敷 柱幅	長押 成	座敷 柱幅	長押 成	座敷 柱幅	測定 柱幅	県名	名称	時代 ^{注5}	時代区 分	長押 成	座敷 柱幅	長押 成	座敷 柱幅	長押 成	座敷 柱幅	測定 柱幅
茨城	山本	江戸中	江戸中	0.54	0.51	1.06	B														
秋田	嵯峨	19C前	江戸後	0.53	0.60	0.89	A														
新潟	笹川	文政9	江戸後	0.51	0.55	0.93	A														
東京	大場	宝暦3	江戸後	0.51	0.50	1.02	A														
福島	五十嵐	享保3	江戸中	0.50	0.65	0.77	B														
秋田	草薨	天保頃	江戸末	0.50	0.57	0.88	A														
徳島	長岡	享保12	江戸中	0.50	0.39	1.28	B														
岩手	佐々木	江戸後	江戸後	0.49	0.50	0.98	A														
広島	木原	寛文5	江戸中	0.48	0.55	0.87	A														
静岡	中村	貞享5	江戸中	0.47	0.50	0.94	B														
埼玉	吉田	享保6	江戸中	0.47	0.54	0.87	B														
徳島	木村	元禄12	江戸中	0.46	0.43	1.08	B														
栃木	荒井	18C後	江戸後	0.46	0.49	0.94	A														
岐阜	大戸	天保4	江戸末	0.45	0.58	0.78	B														
岩手	後藤	元禄~宝永	江戸中	0.45	不明	不明	B														
茨木	中崎	元禄元	江戸中	0.45	0.50	0.90	B														
千葉	花野井	17C後	江戸中	0.45	0.45	1.00	B														
福井	瓜生	元禄12	江戸中	0.44	0.58	0.77	A														
青森	平山	明和6	江戸後	0.44	0.49	0.91	A														
栃木	入野	天保12	江戸末	0.44	0.47	0.94	B														
大阪	北田	宝永5~享保19	江戸中	0.43	0.45	0.96	A														
山形	尾形	江戸中	江戸中	0.43	0.44	0.98	B														
秋田	大山	19C中	江戸末	0.43	0.53	0.81	A														
佐賀	吉村	天明9	江戸後	0.43	不明	不明	B														
栃木	三森	享保18	江戸中	0.43	0.47	0.92	B														
埼玉	平山	18C前	江戸中	0.43	0.47	0.91	B														
京都	角屋	江戸後	江戸後	0.42	0.40	1.06	A														
和歌山	中筋	嘉永5	江戸末	0.42	0.45	0.94	A														
山梨	八代	文化5	江戸後	0.42	0.43	0.99	A														
山梨	星野	嘉永2-4	江戸末	0.42	0.43	0.98	A														
青森	石場	18C前	江戸後	0.42	0.45	0.93	A														
秋田	奈良	宝暦頃	江戸後	0.41	0.47	0.88	A														
愛媛	山中	18C後	江戸後	0.41	0.46	0.89	B														
宮崎	黒木	天保6	江戸末	0.41	0.44	0.93	B														
徳島	小采	天保	江戸末	0.41	0.43	0.95	B														
石川	時国	宝暦6	江戸後	0.40	0.51	0.79	A														
新潟	長谷川	享保元	江戸中	0.40	0.49	0.82	A														
静岡	友田	18C前	江戸中	0.40	0.52	0.78	B														
秋田	鈴木	17C末	江戸中	0.40	不明	不明	B														
佐賀	西岡	安政2	江戸末	0.40	0.47	0.85	A														
沖縄	上江洲	宝暦4	江戸後	0.40	0.49	0.82	B														
群馬	彦部	17C前	江戸前	0.40	0.45	0.89	B														
千葉	尾形	享保13	江戸中	0.40	不明	不明	B														
山梨	高野	江戸後	江戸後	0.39	0.40	0.98	A														
広島	奥	天明8	江戸後	0.39	0.46	0.85	A														
鹿児島	二階堂	文化6	江戸後	0.39	0.45	0.87	B														
三重	町井	江戸後	江戸後	0.38	0.40	0.95	B														
福井	石倉	慶応	江戸末	0.38	0.40	0.95	A														
島根	佐々木	天保7	江戸末	0.38	0.45	0.84	B														
愛知	望月	18C後	江戸後	0.37	0.44	0.85	B														
富山	嶋	18C末	江戸後	0.37	0.53	0.70	B														
愛媛	豊島	宝暦8	江戸後	0.37	不明	不明	B														
長野	横田	寛政6	江戸後	0.37	0.37	1.01	B														
大阪	吉村	江戸前	江戸前	0.37	0.43	0.87	B														
長野	真山	明和3	江戸後	0.36	0.38	0.95	B														
京都	行永	文政8	江戸後	0.36	0.43	0.85	A														
京都	伊佐	享保19	江戸中	0.36	0.40	0.90	A														
奈良	片岡	天明2	江戸後	0.36	0.45	0.81	A														
滋賀	大角	元禄頃	江戸中	0.36	0.39	0.92	A														
兵庫	箱木	室町後	江戸前	0.36	0.49	0.74	B														
和歌山	増田	宝永3	江戸中	0.36	0.39	0.92	A														
福井	谷口	文化6頃	江戸後	0.36	0.50	0.73	A														
島根	堀江	18C前	江戸中	0.36	0.52	0.70	B														
岡山	犬養	江戸中	江戸中	0.36	不明	不明	B														
山口	目加田	19C前	江戸後	0.36	0.40	0.90	B														
茨木	飛田	江戸中	江戸中	0.36	0.38	0.95	B														
沖縄	中村	江戸後	江戸後	0.35	0.35	1.00	A														
新潟	渡辺	文化14	江戸後	0.35	0.40	0.88	A														
岩手	中村	文久元	江戸末	0.35	0.41	0.85	A														
島根	熊谷	文化	江戸後	0.35	0.40	0.88	A														
岡山	石井	江戸末	江戸末	0.35	0.40	0.88	A														
徳島	田中	元治2	江戸末	0.35	0.40	0.88	B														
大分	行徳	弘化4	江戸末	0.35	0.35	1.01	B														
栃木	岡本	江戸後	江戸後	0.35	0.38	0.92	A														
群馬	阿久沢	江戸中	江戸中	0.35	不明	不明	B														
和歌山	妹背山	延享3	江戸中	0.34	0.37	0.92	A														
山口	菊屋	江戸中	江戸中	0.34	0.46	0.75	A														
福岡	永沼	天保10	江戸末	0.34	0.40	0.85	A														
大阪	杉山	享保19	江戸中	0.34	0.43	0.80	B														
奈良	高木	文政~嘉永	江戸末	0.33	0.43	0.78	B														
岐阜	荒川	寛政8	江戸後	0.33	不明	不明	B														
石川	松下	19C中	江戸末	0.33	0.38	0.88	A														
北海	中村	明治22	明治	0.33	0.41	0.81	A														
鳥取	後藤	正徳4	江戸中	0.33	0.39	0.86	A														
和歌山	柳川	文化4	江戸後	0.33	0.35	0.94	B														
広島	林	18C末	江戸後	0.33	0.40	0.83	B														
滋賀	西川	宝永3	江戸中	0.32	0.37	0.88	A														
富山	武田	寛政	江戸後	0.32	0.39	0.83	A														
富山	浮田	文政11	江戸後	0.32	0.41	0.79	A														
新潟	若林	明和6火災後	江戸後	0.32	0.45	0.71	B														
北海	笹浪	19C前	江戸後	0.32	0.40	0.81	A														
岐阜	林主屋	安永2	江戸後	0.31	0.40	0.78	B														
奈良	藤岡	18C後	明治	0.30	0.38	0.80	B														
埼玉	高麗	17C末	江戸中	0.30	0.42	0.71	B														
石川	喜多	19C初	江戸後	0.28	0.35	0.80	A														
広島	太田	18C中	江戸後	0.27	0.33	0.82	A														
山口	口羽	19C中	江戸末	0.27	0.36	0.75	A														
山口	熊谷	明和5	江戸後	0.25	0.40	0.63	A														

* 文化財建造物保存技術協会 博士 (工学)

*The Japanese Association for Conservation of Architectural Monuments D. Eng.